

# 第62期 中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



active



Sun Messe

サンメッセ株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第62期上半期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)の中間決算を行いましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成18年12月



代表取締役会長

田中良孝



代表取締役社長

田中勝英

## CONTENTS

株主の皆様へ	1	Sun Messe News	7
営業の概況	2	株式の情報	9
業績の推移	3	会社の概況	10
製品部門別の概況	4	株主メモ	10
財務の状況			
中間貸借対照表	5		
中間損益計算書	6		
中間株主資本等変動計算書	6		
中間キャッシュ・フロー計算書	6		

## Report 営業の概況

営業拠点と生産設備の増強を図り、より積極的な営業活動を展開いたします。

売上高 69億54百万円 (前中間期比 5.7%増)  
経常利益 3億58百万円 (前中間期比 112.1%増)  
中間純利益 1億94百万円 (前中間期比 127.8%増)

当中間期におけるわが国経済は、原油価格高騰の長期化による素材関係の価格の高止まりの状況でありましたが、企業収益が高水準で推移し、景気は回復基調から、民需主導で巡航速度での成長へと転換していると思われまます。個人消費につきましては、企業の積極的な採用により雇用環境が改善してきており、増加傾向がみられるようになりました。

印刷業界におきましては、インターネットと携帯電話の普及、高度化が、情報媒体の構成に多大な影響を及ぼし、印刷市場が大きく変化してきております。

当社は、このような情勢のなかで『積極姿勢で「飛躍の年」』を会社の年度方針として、積極経営・現場主義の徹底・コミュニケーションの確立で事業展開を図りました。7月には、滋賀県彦根市に滋賀支店を開設し、営業活動を始めました。また、内部統制システムの構築及びその充実を図るための方針を決定し、内部統制推進室を設けその実行に取り組んでおります。

売上の部門別では、当社の主力分野である商業印刷物はカタログ・ダイレクトメールなどを中心に前中間期を上回り51億33百万円(前中間期比103.8%)、出版印刷物は12億28百万円(前中間期比115.8%)、包装印刷物は5億92百万円(前中間期比103.3%)となりました。

利益面におきましては、受注の増加による売上高の増加と、売上総利益率の上昇により売上総利益が増加したこと

により、経常利益、中間純利益共に増益となりました。

以上の結果、売上高は69億54百万円と前中間期に比べて5.7%の増取となり、利益面におきましては、経常利益は3億58百万円と前中間期に比べて112.1%の増益となり、中間純利益は1億94百万円と前中間期と比べて127.8%の増益となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、11月14日開催の取締役会におきまして、1株当たり3円50銭と決めさせていただきました。

今後の見通しにつきましては、米国の景気減速傾向や金利上昇などの懸念材料はありますが、景気は緩やかな拡大が持続すると期待されます。

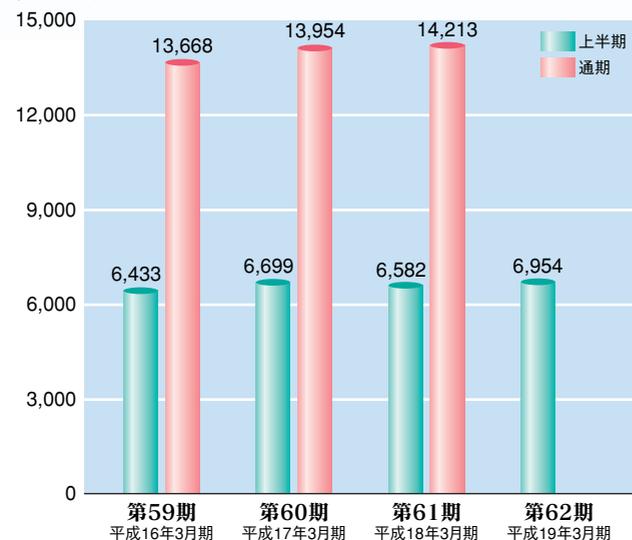
印刷業界におきましては、IT(情報技術)の積極的活用は不可欠であり、ソフトサービス化の仕切り直しが必要であると思われまます。

当社といたしましては、7月1日に開設しました「滋賀支店」を一日も早く軌道に乗せ、業績に寄与できるように努めます。また、11月に生産能力の増強を図るため本社工場に第5工場が完成し、オフセット輪転印刷機2台を順次導入し、より積極的な営業活動を展開したいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

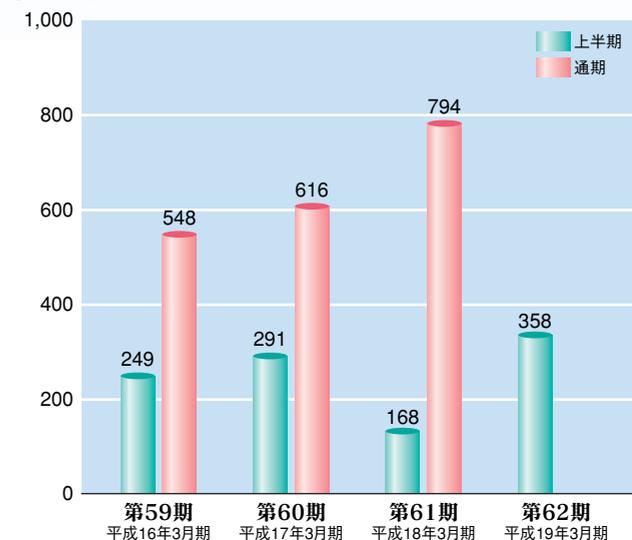
売上高

(単位/百万円)



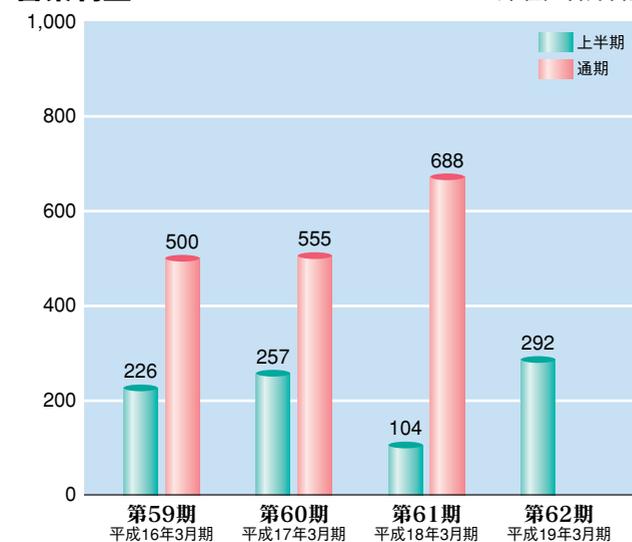
経常利益

(単位/百万円)



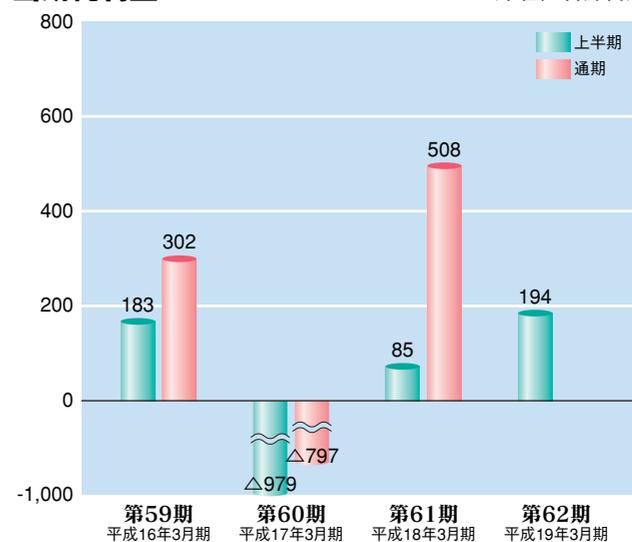
営業利益

(単位/百万円)



当期純利益

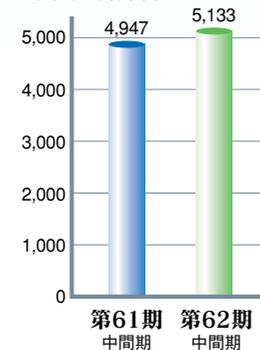
(単位/百万円)



商業印刷

商業印刷物は、企業収益の改善により、企業の販売促進活動が活発になり、需要が拡大し始めました。このような中で、当社は需要に的確に対応した販促支援を積極的に展開し、折込広告、カタログ・ダイレクトメール、定期刊行物などが堅調に推移し、売上は前中間期を上回りました。

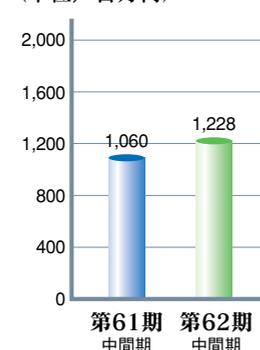
(単位/百万円)



出版印刷

出版印刷物は、書籍、雑誌など出版市場の低迷により、引き続き厳しい状況が続いております。このような中で、当社は得意先に対するきめ細かい対応と短納期化を図りました。その結果、雑誌などは減少したものの、取扱説明書等の頁物が増加し、売上は前中間期を上回りました。

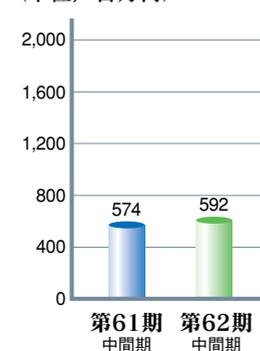
(単位/百万円)



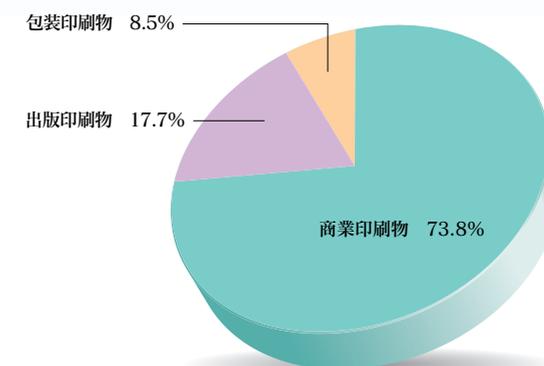
包装印刷

包装印刷物は、環境問題意識の高まりから、軽量化、省包装化が進み、需要は縮小傾向にあるものの、個人消費の持ち直しによる明るい兆しも見られ始めました。このような中で、当社は積極的な営業活動を行い、パッケージ、包装紙・袋物など全般的に増加し、売上は前中間期を上回りました。

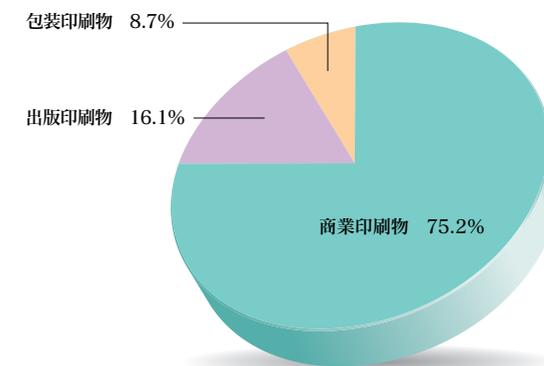
(単位/百万円)



売上高構成比



第62期中間期



第61期中間期

### 中間貸借対照表

科目	第62期中間期	第61期中間期
	(平成18年9月30日現在)	(平成17年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,951,613	5,596,447
現金及び預金	1,533,576	1,461,236
受取手形	1,226,763	1,078,368
売掛金	2,288,975	2,213,518
たな卸資産	649,542	598,055
繰延税金資産	222,000	201,000
その他	67,775	83,622
貸倒引当金	△ 37,020	△ 39,354
固定資産	12,776,816	12,401,793
有形固定資産	8,844,646	8,718,920
建物	2,185,202	2,320,092
機械及び装置	2,299,399	2,347,694
土地	3,846,332	3,846,332
その他	513,712	204,800
無形固定資産	49,704	55,563
投資その他の資産	3,882,465	3,627,309
投資有価証券	3,539,100	3,301,627
繰延税金資産	130,000	111,000
その他	297,198	456,928
貸倒引当金	△ 83,834	△ 242,246
資産合計	18,728,430	17,998,241

(単位/千円)

科目	第62期中間期	第61期中間期
	(平成18年9月30日現在)	(平成17年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,365,906	4,832,510
支払手形	333,325	558,171
買掛金	1,319,515	1,189,055
短期借入金	1,810,000	1,760,000
一年内償還社債	600,000	-
一年内返済長期借入金	50,000	200,000
未払法人税等	197,000	104,000
賞与引当金	419,000	366,000
その他	637,065	655,283
固定負債	1,962,272	2,312,247
社債	-	600,000
長期借入金	100,000	50,000
退職給付引当金	1,601,307	1,423,045
役員退職慰労引当金	248,529	223,912
その他	12,436	15,289
負債合計	7,328,179	7,144,757
<b>資本の部</b>		
資本金	-	1,236,114
資本剰余金	-	1,049,534
利益剰余金	-	7,975,127
株式等評価差額金	-	999,778
自己株式	-	△ 407,073
資本合計	-	10,853,483
負債・資本合計	-	17,998,241
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,351,644	-
資本金	1,236,114	-
資本剰余金	1,049,534	-
利益剰余金	8,470,984	-
自己株式	△ 404,989	-
評価・換算差額等	1,048,606	-
純資産合計	11,400,250	-
負債・純資産合計	18,728,430	-

### 中間損益計算書

科目	第62期中間期	第61期中間期
	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)
売上高	6,954,705	6,582,218
売上原価	5,473,937	5,222,426
売上総利益	1,480,768	1,359,791
販売費及び一般管理費	1,188,226	1,255,481
営業利益	292,541	104,309
営業外収益	94,854	95,255
営業外費用	28,960	30,600
経常利益	358,435	168,964
特別利益	8,228	4,378
特別損失	16,627	27,110
税引前中間純利益	350,036	146,232
法人税、住民税及び事業税	187,366	96,273
法人税等調整額	△ 31,378	△ 35,216
中間純利益	194,047	85,176
前期繰越利益	-	276,305
自己株式処分差損	-	1,303
中間末処分利益	-	360,178

(単位/千円)

### 中間キャッシュ・フロー計算書

科目	第62期中間期	第61期中間期
	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	949,308	336,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 859,697	△ 246,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	115,114	△ 264,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額	204,725	△ 174,725
現金及び現金同等物の期首残高	1,198,850	1,305,961
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,403,576	1,131,236

(単位/千円)

### 中間株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位/千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金合計
平成18年3月31日残高	1,236,114	1,049,534	1,049,534	114,949	7,500,000	730,799	8,345,748	△ 404,989	10,226,408	1,249,456	1,249,456	11,475,863
中間期中の変動額												
剰余金の配当						△ 68,812	△ 68,812		△ 68,812			△ 68,812
中間純利益						194,047	194,047		194,047			194,047
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)										△ 200,850	△ 200,850	△ 200,850
中間期中の変動額合計	-	-	-	-	-	125,235	125,235	-	125,235	△ 200,850	△ 200,850	△ 75,614
平成18年9月30日残高	1,236,114	1,049,534	1,049,534	114,949	7,500,000	856,034	8,470,984	△ 404,989	10,351,644	1,048,606	1,048,606	11,400,250

### ●本社工場に「第5工場」完成

今秋、本社工場に「第5工場」が完成いたしました。折込広告をはじめカタログ、ダイレクトメールなどの受注が好調を維持し、今後も拡大傾向がみられるため、新工場を建設し生産能力を増強することにしました。延床面積4,601m<sup>2</sup>の3階建てで、本社敷地内の南側に建設し、1階は折込広告などを印刷するオフセット輪転印刷機2台を、今後、2階には枚葉印刷機を導入、3階はデリバリ作業スペースとして活用する予定です。

これにより、さらなる生産性の向上と受注増に対応できることになりました。



### ●新規機械導入(オフセット輪転印刷機)

本社工場に「第5工場」が完成したことに伴い、三菱重工業社製のB縦半裁オフセット輪転印刷機「LITHOPIA MAX BT2-800」を導入しました。もともとこの機械の導入は、現在稼働中のオフセット輪転印刷機の更新機として計画しておりましたが、受注増に対応するため、増設に変更いたしました。この輪転印刷機の最大の特徴は、シャフトレス(駆動シャフトがなくユニット毎の単独モーターで駆動)で、印刷部と折機部の独立平行作業が可能となり分散作業による段取り時間の短縮、動力低減、ギヤやタイミングベルトの減少による低騒音化、メンテナンス作業の簡素化が図られます。その他、各種省力化・損紙低減装置を備え、生産性、品質、稼働率の向上が可能となりました。

また、小森コーポレーション社製のB縦半裁オフセット輪転印刷機「システム35S」の導入も決定しており、オフセット輪転印刷機、計8台(A列、B列含め)体制で大型受注に対応していきます。



### ●滋賀県へ初進出と新部署の立ち上げ

7月1日、当社10番目の営業拠点「滋賀支店」が新設され、業務を開始いたしました。

岐阜県に隣接する滋賀県東部は、すでに本社営業部(岐阜県大垣市)の営業エリアでありましたが、新規顧客の開拓には地元を根をおろし、積極的な営業展開が必要でありました。また、既存のお客様に対してもより密着したサービスの提供をすることによりさらなる信頼を得ることができるようになります。

滋賀支店は、滋賀県彦根市(南彦根駅近く)に拠点を置き、滋賀県東部を中心に大津から北琵琶湖方面までを営業エリアに新規顧客の獲得を図り、業務拡大を目指します。

〈滋賀支店 住所〉

〒522-0043

滋賀県彦根市小泉町300-9 サンロードビルⅡ 3階

TEL 0749-21-3211

また、マーケティング開発部を立ち上げ、官公庁に特化した営業戦略グループを編成し、国や東京から大阪の地方自治体関連を営業展開していきます。



### ●70年誌発刊

当社は、昭和10年(1935年)に創業し、平成17年(2005年)に70周年を迎えることができました。創業以来、幾多の困難を乗り越えることができました



のも、多くのお客様、株主様にご支援、ご指導いただいた賜物と心から感謝いたしております。また、創業以来、「お客様の立場」を最優先に考え行動すること、「First One for Customer」をコンプトとしてまいりました。今後も更なる飛躍・発展のために、この「感謝の70年の歴史」を80年、90年、100年と、永年に亘って受け継ぎ、「サンメッセDNA」として伝承していきます。どうぞ、今後とも今まで以上に、ご支援、ご指導をお願いいたします。

### ●オールサンメッセクリーン大作戦 & ノーマイカーデー実施

全社で行う2つの環境保全活動を実施しました。5月25日には、地域清掃活動「オールサンメッセクリーン大作戦」と称して、各拠点近隣の道路や河川のゴミ拾い、除草作業などを行いました。また、5月27日には、通勤時における自家用車利用を自主規制し、二酸化炭素排出量を少しでも削減することを目的として「ノーマイカーデー」が実施され、多くの社員が参加しました。

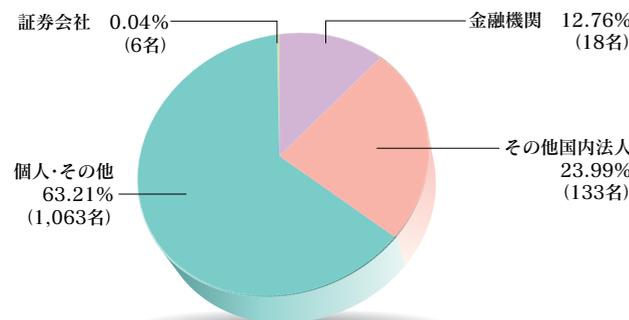


## 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

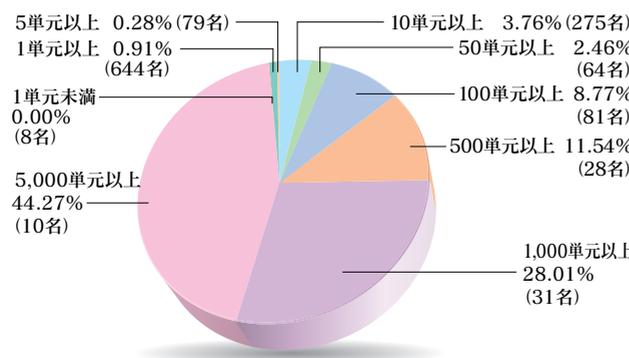
①発行可能株式総数	60,000,000株
②発行済株式の総数	17,825,050株
③株主数	1,220名

## 株式分布状況

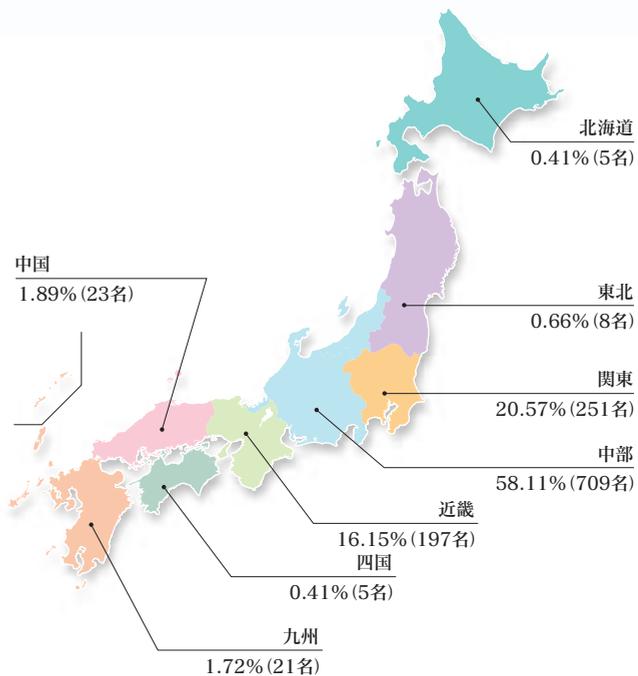
### 所有者別株式分布状況 (株式数比率)



### 所有数別株式分布状況 (株式数比率)

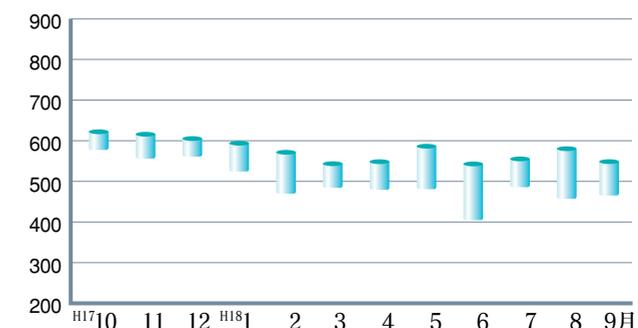


## 地域別株主数 (株主数比率)



(注)その他に保管振替機構名義株式が1名(0.08%)あります。

## 株価推移 (単位/円)



## 会社概要 (平成18年9月30日現在)

商号	サンメッセ株式会社
設立	昭和21年9月20日
資本金	1,236,114千円

## 主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。得意先の希望する印刷物を企画、デザイン、製版、印刷、製本のみならず、トムソン加工、製袋、表面加工等に至るまで設備を装備し一貫生産。またWebサイトやDVDなどのコンテンツ制作、デジタルアーカイブ作成等、マルチメディア製品の企画開発。

## 本社および事業所

本社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支店	東京支店(東京都江東区) 赤坂支店(東京都港区) 大阪支店(大阪市中央区) 名古屋支店(名古屋市中区) 岡崎支店(愛知県岡崎市) 愛岐支店(愛知県一宮市) 岐阜支店(岐阜県岐阜市) 三重支店(三重県桑名市) 滋賀支店(滋賀県彦根市)
研究所	サンメッセ情報館(岐阜県大垣市)
工場	本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
系列会社	日本イベント企画株式会社(岐阜県岐阜市)

## 従業員の状況

従業員数	前中間期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
733名	3名減	35.8歳	14.6年

(注)上記の従業員数には、他社への出向者14名、嘱託18名、パート165名は含まれておりません。

## 主要な借入先 (単位/借入額 百万円 持株数 千株 議決権比率 %)

借入先	借入額	持株数	議決権比率
株式会社大垣共立銀行	600	857	4.98
株式会社十六銀行	300	198	1.15
株式会社三菱東京UFJ銀行	200	176	1.02
株式会社みずほ銀行	200	132	0.76

## 役員

取締役会長*	田中良幸	
取締役社長*	田中勝英	
専務取締役*	田中義一	営業本部長
取締役	浅野宣久	常務執行役員監査室長
取締役	北川松男	常務執行役員製造本部長
取締役	木村伸男	執行役員東京営業部長
常勤監査役	吉野鋭城	
監査役	内藤保彦	税理士
監査役	藤塚清治	税理士
監査役	加藤文夫	税理士

\*は、代表取締役であります。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載のホームページアドレス <a href="http://www.sunmesse.co.jp/">http://www.sunmesse.co.jp/</a>

株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号(〒460-8685) 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同事務取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

(お知らせ)  
・住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、配当金振込指定に必要な用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル及びインターネットのホームページで24時間受付しております。  
○受付フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)  
○ホームページアドレス  
[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

# active (積極的な) posture (姿勢) jump (飛躍する)

当社は、平成18年度の会社方針を「積極姿勢で「飛躍の年」としております。

## ●ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。  
IR情報(投資家様向け情報)にも、ダイレクトでアクセスできますので、こちらもどうぞご利用下さい。

### トップページ

<http://www.sunmesse.co.jp/>



### IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/index.html>



人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

## サンメッセ株式会社

サンメッセ・ホームページアドレス  
<http://www.sunmesse.co.jp/>



JQA-EM1779  
本社・本社工場  
中工場・西工場



JQA-QM3742  
本社工場  
中工場・西工場



古紙含有率100%の再生紙を使用しています。



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。



環境にやさしい水なし平版印刷を採用しています。